

# ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU” Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』

演劇、小説、川柳など、ジャンルを横断して活動する劇団、Dr. Holiday Laboratory  
本公演より石川朝日、油井文寧が加入し、新体制で臨む初の京都公演は  
アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』に着想を得た新作！  
他人を演じることの悲劇と繰り返される戦争を問う新境地。



12月13日（金）～15（日）ロームシアター京都 ノースホール

作・演出  
山本ジャスティン伊等\*

出演  
石川朝日\*、佐藤駿、田崎小春（青年団/melomys）油井文寧\*、ロビン・マナバット\*  
\*Dr. Holiday Laboratory

ひとは、存在しない犠牲を、救うことができるのだろうか？

かつて起こらなかった出来事の犠牲を、未だ起こっていない出来事の犠牲を、私たちは、いかにして救うことができるのか？

時間が、空間が、あなたの肉体が、ゆっくりと軋みはじめる。――

画像一式

<https://drive.google.com/drive/folders/1hSihm0nk3Vl56EehVV3WpbcJJs81VfI7?usp=sharing>

お問い合わせ：Dr. Holiday Laboratory [info@drholidaylab.com](mailto:info@drholidaylab.com)（小野寺、山本）

## Dr. Holiday Laboratory初の京都公演

2021年の設立以降、演劇、小説、川柳など、ジャンルを横断して言葉の表現を追求する劇団、Dr. Holiday Laboratory。関東を拠点にしているDr. Holiday Laboratoryは、ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム“KIPPU”に選出され初の地方進出を果たす。京都芸術センターでの滞在制作ののち、ロームシアター京都にて新作、『想像の犠牲』を発表する。

## アンドレイ・タルコフスキー『サクリファイス』に着想を得た新作

『想像の犠牲』は前作『脱獄計画（仮）』の後日譚として描かれる。『脱獄計画（仮）』はラテンアメリカ文学の傑作アドルフォ・ビオイ＝カサーレスによる小説『脱獄計画』をテーマに、饒舌かつ重層的な文体の戯曲、不気味な笑いと言葉の暴力が渦を巻く上演が話題を呼んだ。本作ではロシア人映画監督アンドレイ・タルコフスキーの遺作、『サクリファイス』に着想を得て描かれる。



『脱獄計画（仮）』舞台写真

### あらすじ

演劇をやめて久しい土井は、かつて出演した演劇作品の「演出家」の弟を名乗る人物から、演劇の上演を依頼される。そこで土井が受け取ったのは、アンドレイ・タルコフスキーのある映画をもとに書かれた、演劇と救済にまつわる、一本の奇妙な戯曲だった――。

《浜辺から一本隔てた、ヤシの等間隔に並んでいるサンタモニカの明るい通りを歩きながら、僕はそのことを思い出している。僕は、僕の知らないうちに、加害し、陵辱し、あるいはすでにその一部になっているのではないかと、という奇妙な恐怖のことをです。》

## 『想像の犠牲』 関連イベント

[KYOTO EXPERIMENT 2024 フリンジ「More Experiments」](#)

[『脱獄計画（仮）』上映会＋トークイベント](#)

[～「役」を演じずにはいられない私たちの生き／死について～](#)

2023年にこまばアゴラ劇場で上演した『脱獄計画（仮）』の記録映像の上映とトーク。

この社会を生きていくうえで、私たちはしばしば、役を演じることを強要され、あるいは自分の意志で行ったことを、ある役割に沿った行動として他人にみなされてしまう。自分として生き、自分として死ぬこと、ただそのことがむずかしい。『脱獄計画（仮）』は、そうして「役」の渦にのまれつつある人間が、それへの抵抗を描いたもの、と言えるかもしれません。

上映後のトークでは、俳優に登壇してもらい、「演技」の側面から本作の振り返りを行いつつ、また『想像の犠牲』（12月13～15日、ロームシアター京都）の制作過程について話します。

日時：10月7日（月）19:00～22:00（受付開始・開場は、開演の30分前）

会場：UrBANGUILD（京都府京都市中京区材木町1 8 1-2 ニュー京都ビル3F）

チケット料金：¥2000＋1drink

## Dr. Holiday Laboratoryとは

2021年設立。山本ジャスティン伊等（主宰）、石川朝日、小野寺里穂、油井文寧、ロビン・マナバットの5名をメンバーとして、東京・神奈川を拠点に活動。演劇を主な表現手段としながら、ダンス、川柳、小説などジャンルを横断しながら制作を行う。

山本の演劇作品は、文法や時空間の破綻を孕む饒舌かつ多層的な構造を持つ戯曲と、不気味な笑いや挑発的な態度を特徴とした演出が特徴。その作品は小説家の保坂和志や美術家のミヤギフトシなどからも高く評価されている。近作に『うららかとルポルタージュ』（2021）、『シャッセナンビ』（2022）、『脱獄計画』（2023）。

## 作・演出／出演者プロフィール（1）



photo by マコトオカザキ

### 作・演出 山本ジャスティン伊等 (Dr. Holiday Laboratory)

カリフォルニア州サンタモニカ生まれ。Dr. Holiday Laboratory主宰。劇作家、演出家。主な作品に『うららかとルポルターージュ』、『脱獄計画（仮）』など。トーチwebにてエッセイ「ひまの演出論」連載中。



photo by マコトオカザキ

### 出演 石川朝日 (Dr. Holiday Laboratory)

1995年生まれ 俳優 多摩美術大学演劇舞踊デザイン学科1期生 3年時中退。その後、渡仏。ジャックルコック国際演劇学校に入学。入学したは良いが、フランス語も英語もほぼわからず、毎日の授業、パリでの極貧生活、勤と努力で、2年間を生き抜いた。かなり苦しかった。なにもわからなかった。楽しかった。帰国して3年半がたち、自分が教える機会にも恵まれ、ルコックの教育のベースにあったマイム(同化)とはなんだったのか、今の日本の演劇とのズレがなんなのか、記憶を掘り起こし、検証中。



photo by マコトオカザキ

### 出演 油井文寧 (Dr. Holiday Laboratory)

1994年7月29日静岡県出身  
桜美林大学芸術文化学群演劇学科には馴染めず在学中の京都ゼミでは講師と生徒の顔を繋ぎつくれた「妖怪芸術文化学群」が気に入られ知らない間に発表されB評価を獲るも卒業まではバレーボールと陶芸に励んだ。  
現在は児童福祉の仕事をしながらかときどき演劇に関わっている。自分と演劇との距離を考え、生活と健康を1番大切にしたいと思っている。

## 作・演出／出演者プロフィール（2）



photo by マコトオカザキ

### 作・演出 ロビン・マナバット (Dr. Holiday Laboratory)

1995年生まれ、神奈川県出身、都立桜町高校卒業。卒業後からゴミ収集の作業員として生計を立てている。俳優。

また、演劇活動以外に小説作品を執筆しており、自らが従事するゴミ収集の仕事の経験について書くなど、生活の実感に根ざした作風と文体を特色とする。



photo by マコトオカザキ

### 出演 佐藤駿

映画美学校アクターズコース一期初等科修了。横浜国立大学大学院Y-GSCスタジオ修了。

これまでの主な参加団体に、屋根裏ハイツ、バストリオ、円盤に乗る派、など。

Dr. Holiday Laboratory への参加は、2021年『うららかとルポルタージュ』（作：山本浩貴、演出；山本伊等）以来、2度目。



photo by comuramai

### 出演 田崎小春 (青年団/melomys)

福岡県出身。劇団青年団俳優。たまに活動している自身のユニットmelomysでは作・演出もおこなう。



photo by マコトオカザキ

**Dr. Holiday Laboratory は俳優の石川朝日、油井文寧を新たにメンバーとして迎えることとなりました。**油井は弊団体の旗揚げ作品『うららかとルポルターージュ』、『脱獄計画（仮）』に出演、石川は『脱獄計画（仮）』に出演するなど、過去にも共同制作を重ねてまいりました。

油井は過去にチェルフィッチュ、スペースノットブランク、ほろびて、ワウフラミンゴといったカンパニーに出演、個人的な活動としてSpotifyで「やっきりこいちゃうご時世だけど明日も頑張って行きまーっしょいのラジオ season2」が始まった。石川はフランスの演劇学校ルコックを卒業し、NODA MAP への出演経験もある。近年はダンサーや現代美術作家とのクリエイションにも関わっている。このたびのメンバー加入によって、弊団体にさらにアグレッシブかつ新しいアングルが加わり、「劇団」という枠にとらわれない、より多角的で実験的な活動を展開していく所存です。

**五人体制となった Dr. Holiday Laboratory の活動の嚆矢として、本年12月にロームシアター京都にて『想像の犠牲』を上演いたします。今後の活動にぜひご期待ください。**

## 石川・油井 加入コメント

### 石川朝日コメント

とにかく自分は、1人で生きていく方法を考えてきて、ずっと実践してきたような気がします。孤独はいいけれど、孤独の良いところは、いつでもどんな時でも、切断さえすれば孤独になれるという事実かもしれない。自分にとっては、他人と生きる方が勇気がある、他人と作ることのほうが勇気がある。ずっと1人でいいと思ってたけど、そうじゃなかったかもしれない。他人と生きる、他人と作るってどういうことですか？

その問いに実践で応答したいと思いました。かれらくん、小野寺さん、ロビンくん、油井さん、どうぞよろしくをお願いします。

### 油井文寧コメント

Dr. Holiday Laboratory との創作で私は私の意思をはじめて大切にできた気がしました。ちゃんと私の力で立てる。今までもしっかり立ててきた。演劇は私の一部なのかもしれないけど、演劇が私の全ての価値を決めるものじゃないと分かった時すごく楽になりました。どんな人たちと一緒にいたいのか。私は私でいられることを大切にでき続ける場所が演劇でも生活でも必要なのかもと思っています。そう思え始めたときに会ったのがたまたま伊等君達だったのかもしれないけど、私は運命とかちよー信じてしまうのでこの直感を選びたいと思います。

## 公演概要

ロームシアター京都×京都芸術センター U35創造支援プログラム “KIPPU”  
Dr. Holiday Laboratory 『想像の犠牲』

【日程】2024年12月13日（金）～15日（日）

12/13（金）19:00

12/14（土）☆13:00 18:00

12/15（日）★13:00

※全席自由

※受付開始は開演の30分前、開場は15分前

※未就学児入場不可

☆託児サービスあり。

★ゲストに保坂和志氏（小説家）を迎えてアフタートーク実施

他の回のアフタートークに関しては決まり次第団体のwebにて発表予定

【会場・アクセス】

ロームシアター京都 ノースホール （〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13）

<https://rohtheatrekyoto.jp/>

【チケット料金】

一般 3,500円

U25 2,500円

ペアチケット 6,000円（前売りのみ）

応援チケット 8,000円～（前売りのみ、

Peatix取り扱い）

※当日券は500円増

※U25チケットは、公演当日に受付にて年齢が確認できる証明書（学生証、免許証等）をご提示ください。

※応援チケットはDr. Holiday Laboratory の活動を支援していただけるチケットです。

【その他公演詳細】

web:[drholidaylab.com/sacrifice-in-imagination](http://drholidaylab.com/sacrifice-in-imagination)

【チケット取り扱い】

劇場先行発売日 9月14日（土）

一般発売日 9月21日（土）

●[Dr. Holiday Laboratory Peatix](#)

●ロームシアター京都 オンラインチケット

<https://www.s2.e-get.jp/kyoto/pt/>

24時間購入可 ※要事前登録（無料）

●ロームシアター京都 チケットカウンター

TEL.075-746-3201

窓口・電話とも10:00～19:00/年中無休

※臨時休館日等により変更の場合あり

●京都コンサートホール チケットカウンター

TEL.075-711-3231

窓口・電話とも10:00～17:00/第1・3月曜日休館

※休日の場合は翌日

●京都芸術センター

事務所窓口（10:00～18:00）

## クレジット

作・演出：山本ジャスティン伊等\*

出演：石川朝日\* 佐藤駿 田崎小春（青年団/melomys） 油井文寧\* ロビン・マナバット\*

舞台美術：佐々木文美（FAIFAI）衣装：藤谷香子（FAIFAI）照明：吉田一弥 照明操作：高木里桜

音楽：SKANK/スカンク（Nibroll）戯曲執筆協力：吉水佑奈

舞台監督：十河陽平 テクニカルマネージメント：夏目雅也

アートディレクション：山本浩貴+h（いぬのせなか座）

制作：小野寺里穂\* 制作補佐：遠藤七海

\*Dr. Holiday Laboratory

台詞引用：映画『サクリファイス』（1986 監督：アンドレイ・タルコフスキー/字幕：清水俊二）より

発売元：アイ・ヴィー・シー ©Svenska Filminstitutet ¥6,800（+税）

協力：早稲田小劇場どらま館

認定：公益社団法人 企業メセナ協議会

共催：ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、

京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、京都市

主催：Dr. Holiday Laboratory